

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		文京区放課後等デイサービスJOY		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・電動車椅子を使用される方のために通路を広く設定しています。	・必要なスペースはあるものの、児童の生活や活動では十分ではないと感じることもあります。活動場所であることを意識した環境整備を目的とし、スペースを確保するための収納を意識できるように取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・職員の配置を活かすように書面による業務の標準化に努めています。	・配置基準を満たしていますが、介助を必要とする児童が多く、配置基準以上の人数を必要とすることがあります。今後も支援の方法や動線の工夫に取り組みます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・体格等に応じたイスや机を使用することで、環境上の配慮をしています。 ・多機能型ということもあり、バリアフリー化について即座に行い、必要とあれば改善もすぐに行うようにしています。	・児童にとってわかりやすい環境を追求していくことが環境の改善につながると考え引き続き取り組んでいます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・毎日、受け入れ前、活動後に消毒を行い感染症予防とともに清潔な状態を維持できるように心がけています。 ・限りあるスペースを有効活用するため、活動に合わせて机、椅子を移動し活動に必要なスペースを確保できるようにしています。	・清潔な空間に維持に努めていますが、収納に課題を感じます。活動スペースを確保するための収納を意識できるように取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・スペースに限りがあるため、個別の部屋がなく実施が難しい面がありますが、人との距離をとるなど配慮はしています。 ・児童の状況に応じて、カーテンでの仕切りを入れ別空間を作れるようにしています。	・個別化の一つの方法として、取り入れることもありますが、職員の判断で行います。児童が個別化のねらいを理解できるように、職員間でねらいの統一化を目指しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・定例会、ミーティングを通して職員全体で共有、実施、振り返りを行うように努めています。	・職員一人一人が業務改善に取り組んでいますが、個人での印象を感じることもあります。広く職員が参画しているという意味では意見がわかります。業務分担の工夫を続け、職員が広く参画できるように努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年、自己評価の結果はJOY内でも共有を行っています。	・意向を業務改善につなげるためには、検討と検証を工夫して事業所全体でできるように取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・自己評価を活用しています。 ・自己評価以外にミーティングや定例会で職員が集まり、活動の振り返りや支援方法の変更や業務内での変更を共有、意見の交換をしています。	・意向を業務改善につなげるためには、検討と検証を工夫して事業所全体でできるように取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		・今年度は第三者評価を実施した（3年に1度実施している）	・改善点を検討と検証するために、会議の仕方や技術を向上に取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修の情報提供をその都度、職員全体に対して行っています。	・研修報告を用いての伝達を強化できるように努めています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	3		・今年度中の公表を目指して準備を進めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		・客観的な分析についてもっと研鑽を積む必要があると考えています。客観的な分析を深められるように取り組みを続けていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	・職員間での会議を行っています。	・全職員の共通理解を深めるに作成手順を工夫に取り組んでいます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		・全職員の共通理解を深めるに、これからも工夫して研鑽に努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・支援記録を用いて、日々の行動観察は行っています。	・インフォーマルなアセスメントにも力をいれたいと考えています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		・本人支援以外の支援については事業所内でもっと議論をできるように工夫に取り組んでいます。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・プログラムはみんなで話をして立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・季節、イベントごとに合わせて変化のある活動ができるように心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個別活動はフリータイムとして設け、集団活動はそれ以外で設けています。制作や学習は個人の能力に応じて計画しています。	・個別活動と集団活動を組み合わせ活動していますが、目的がぶれてしまうこともあるので、個別活動と集団活動の基準を明確にする工夫に取り組んでいます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・児童受け入れ前のミーティングでは、保護者からの事前情報の共有や活動、支援上での配慮点があれば共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・活動後のミーティングでは、児童の様子、活動の振り返りのみだけでなく、ヒヤリハット、ニヤリホットも共有しています。 ・支援上での変更点についても「どう変更するのか？」をしっかりと確認して、次回利用時から対応できるように心がけています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・今年度より支援記録の改訂を行い、記録を残しやすく見返しやすくしています。 ・個別ケース記録を毎回記入して、児童の情報共有、今後の支援方法に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的に計画を見直すように努めています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	・行事や外出を通じて、地域との交流や公共交通機関を利用する経験を積めるように努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・好きな事をする時間や昼食を購入する機会を設け、児童が好きなものを選択できるように取り組んでいます。	・自己決定をする力を育てるため今後も工夫をしていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・行政との連携強化に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校主催の連絡会に定期的に参加しています。 ・学校へ児童の迎えを実施しているので、必要な情報の共有の場として活用しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・対象が中学生からなので就学前のことについては連携が難しいこともありますが、保護者を通じて情報が得られるように取り組んでいます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・必要に応じて、移行先にコンタクトを取り書面等で引き継ぎを行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	児童発達支援センターと連携を図っています。必要に応じて、相談支援専門員を通じて相談し支援に活かしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・他の事業所のイベントに児童とともに参加して交流のかたち模索している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・管理者が参加しています。資料などを回覧して通じて事業所全体への周知と共有を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・サービス提供記録への記載や電話連絡、必要に応じて送迎時に引き継ぎしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		・保護者への助言は必要に応じて行っていますが、学ぶ機会の提供はできていません。事業所として何が出来るか模索する必要がある考えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・内容が変更になった場合も面談時にお伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・対面だけでなく、zoomなども活用しながら児童や保護者の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・面談で説明しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・サービス提供記録や面談時に保護者より相談があった際に、事業所で実施している方法をお伝えしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情対応窓口や虐待防止委員会で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月、機関誌「JOYFUL」を発行しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報については保護者に同意書を取っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・相手に合わせて、文字、写真等を使用しご理解いただけるように心がけています。 ・子ども意思、意見を尊重、配慮できるように心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・地域交流を目的としたお祭りを開催しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・面談等で説明しています。	・周知についてはもっと工夫が必要と考えます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・定期的に避難訓練を実施しています。 ・多機能型の施設なので合同防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・服薬や予防接種、てんかんの詳細を面談時に聞き取りアセスメントシートに記録するようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・保護者より医師からの指示書を提出いただいています。 ・指示書は更新があればその都度、提出を頂くようにしています。	・アレルギー対応は、除去を基本としていますが、指示書の理解については周知に対する工夫が必要と考えます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・活動後のミーティングでヒヤリハットを共有しており、その際今後気をつけた方が良い点も含めて意見交換をしながら行っています。	・検討と検証がもっと深く事業所全体でできるように取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止については毎年度、研修を受講し、職員全体に対して内部研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・面談時に内容を確認し、計画への記載も行っています。 ・事業所内での虐待防止委員会では、身体拘束についての項目もあり、対象者の有無、方法等についても共有しています。		